



国際ロータリー第2530地区 県北第一分區  
**福島南ロータリークラブ会報**

事務局連絡先 024-546-3793



2020.11.25

会員 73名中 49名 出席 67.12%  
修正 58名 79.45%  
メイクアップ 9名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack  
国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司  
福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭  
標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテサンパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



穏やかな小春日和の天空と、降っては上がる時雨、大陸に発生した高気圧から吹き付ける冷たく乾いた北風は「木枯らし」となって木々の葉を吹き散らしていきます。寒くなって家の中で過ごす時間が多くなってきましたが、江戸時代の儒学者貝原益軒は「養生訓」の中で、年をとると若いときより時がすぎるのが10倍になる。それだけに、一日を十日分楽しむようにして、決して時間を無駄にはしてはいけません。読書や音楽、演劇、映画などで我を忘れる時間、行ったことのない土地や新たな文化に触れる新鮮な時間、ロータリーで学ぶ時間、そうした心豊かで充実した時間はあっという間に過ぎていきます。でも、その時間は心の中にしっかりと蓄えられて、まさに、一日が十日になるのです。

さて、今日は、90歳を超えてなお矍鑠とされている三浦 善治さん。そして、昨年入会され、何事にも熱心に取り組んでいる河野 忠さんからスピーチを頂きます。三浦さんは、子供の年齢のような私に対しても、全く威張るようなところも無いいつも丁寧な対応をして頂いています。正に、豊穡の稲穂といったところでしょうか。

一方、河野さんを見てみると、入会17年目の私の出来の悪さが際立って、私の方が恥ずかしくなってしまうような素晴らしい人材です。入会して頂いたことに感謝したいと思います。

今日は、ロータリーの奉仕に関して少しお話をさせて頂きたいと思います。奉仕については、そのことを多く語るより、奉仕の実践が大事だと言われております。奉仕の実践という、何故か社会に対する外向きの奉仕が思い浮かぶかも知れません。しかし、外向きの奉仕も大事だと思いますが、それは、内向きの奉仕ができた上での外向きの奉仕でなければ説得力がない訳であります。具体的に言うと、社会的地位が高く、あの方はいろいろな所で活躍して奉仕活動も沢山やっていて、立派な方だと評判が高い人が、いざ、家庭に帰ると、外に評価が低くて、厄介者とか粗大ゴミのような存在になってしまうようなことがあるわけです。皆さんは大丈夫でしょうか。

何事も基本というのは、外の世界にあるのではなく、内なる身近なところにあることが多いようです。奉仕の基本も、ごく身近なところにあるということなのだと思います。この身近なところと言えば、夫婦とか親子といった家族、そして、会社の社員、クラブの会員同士においても、一緒にいる時間が長くなると、どうしても自分とは違う嫌な部分が目についてきて、仲違いが起きてしまうことがあります。そして、一度関係が悪くなってしまうと、身近にいる人ほど、その関係の修復は難しくなってしまうのです。

奉仕の理想を標榜するロータリーは、形だけの奉仕に囚われず、まずは、目の前にいる人に、思いやりと寛容の心を持って奉仕の実践をして頂くことをお願いして今日の会長挨拶とします。

次回12月2日(水)第19回例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト
4. お客様紹介と会長挨拶
5. 誕生祝い
6. ロータリーの読みどころ
7. スマイリングボックス報告
8. オンライン「ゲスト」(白坂亜紀様)
9. 幹事報告
10. 閉会点鐘



親睦料理飲食業組合連合会理事  
親睦ミナチプロジェクト理事  
クラブ福場オーナーママ

【例会予定】

- 12月9日(水) ｸﾗﾌﾞ年次総会(次年度理事役員・役員選挙)
- 12月16日(水) 会員スピーチ(菅野良二会員)
- 12月23日(水) クリスマス忘年会、「ゲスト」(福島愛育園長谷川文夫園長様)
- 【地区・分區・その他関連行事】
- 12月5日(土) 県北第一分區 第二分區合同 新会員村イノベーション(ケアー1777)
- 12月11日(金) 第4回第一分區会長・幹事会(ウェブ「インク」イベント)
- 1月4日(月) 市内8ｸﾗﾌﾞ 新年合同例会(本社:福島中央RC)



◆地区会長幹事会報告(菊地 和宏 幹事)



去る11月21日(土)郡山ビューホテルアネックスに於いて国際ロータリー第2530地区2020-21年度地区大会委員会並びに会長・幹事・選挙人会が開催されました。

地区より89名の参加があり、当クラブからは、大橋廣治バスターガバナー、廣澤俊樹県北第一分區ガバナー補佐、松崎弘昭会長、幹事の菊地の4名でした。石黒秀司ガバナーの開会点鐘に始まり、1、2019-20年度地区資金決算・監査報告 2、2021-22年度地区大会開催日・会場についての報告 3、地区大会委員会報告がありました。次に①資格審査委員会報告、②選挙委員会報告、③決議委員会報告があり、それぞれ投票により議決。その他では、ガバナーノミニとして、喜多方ロータリークラブ佐藤正道会長から挨拶がありました。

次に石黒ガバナーから「国際ロータリー第2530地区の皆様にお伝えしたい事」と題してお話がありました。

現在、毎回例会で唱和している4つのテストですが、カーネルサンダースがガソリンスタンド、レストラン、ビジネスホテル等の仕事で大成功を治め、ロータリアンになったそうです。

ところが65歳の時に全てを失う事になり、新たにフランチャイズビジネスをはじめると、尺度として使ったのが、今の4つのテストなのだそうです。

日本では、新潟の新発田ロータリークラブ、山本パスト会長も会社が窮地になった時、社会のためになるかどうか、お客様のためになるかどうか、社員のためになるかどうか、会社のためになるかどうかという4つのテストを用いて窮地から脱出する事が出来たというお話をされました。

次に例会について、忙しい日程、例会に出て欲しいということです。例会では、企業経営のアイデアを頂いたり、意見交換をして自己研鑽、自分磨きに役立てて欲しい。そのためには「クラブの魅力最大化、入りたいクラブへ大変革を！」という事です。幹事として改めて身の引き締まる思いで拝聴しました。

今年は、日本にロータリーができて100年になります。石黒ガバナーは「澎湃:ホウハイ」という言葉で退潮ムードを断ち切って次の100年に向かわなければならないと締めくくりました。



四つのテスト

詳細はこちらに載っています。

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか

◆会員スピーチ(三浦 善治 会員 / 河野 忠 会員)



東北税理士会  
**三浦 善治 会員**

「一隅を照らす者は国宝なり」という言葉に始まり、国税局時代の貴重な経験談をお話し頂きました。



そして、最後に納税は自分の良心を申告することですと結ばれました。↑原稿びっしりの直筆から真面目で几帳面さを感じます。



南大野建築設計事務所  
Ohno Architecture Design Office  
**河野 忠 会員**

自社の企業理念から、仕事をする上で大切にしていることなど、スクリーン(スライド)を使って分かりやすくお話し頂きました。特に「ものづくり」の楽しさをクライアントと共に追求します。という

企業理念

- ・常に時代の変化を認識し、機能を生かして地球に貢献します。
- ・「ものづくり」の楽しさをクライアントと共に追求します。
- ・自分がスキルアップすることは社会貢献。様々なことに興味を持ち知識の吸収に努めます。



考え方は、お人柄がわかり、信条である「素直、正直、真面目」が伝わりました。



【道の駅かわまた】の各建物は、当クラブ会員の奇跡のコレクション設計作品との事。どれも素晴らしい作品ですね!

